

事業説明資料

2020年11月18日



日通システム株式会社

Nittsu System Co., Ltd.

(東証マザーズ：4013)



1. 企業理念とビジネスモデル

2. 事業ハイライトと成長戦略



クラウド事業及び「HRM&HLプラットフォーム」を通じて
人と時間とテクノロジーのより良い関係を求め
「働き方改革&健康経営」及び「国民のヘルスアップ」を
支援することで社会貢献（CSR）します。

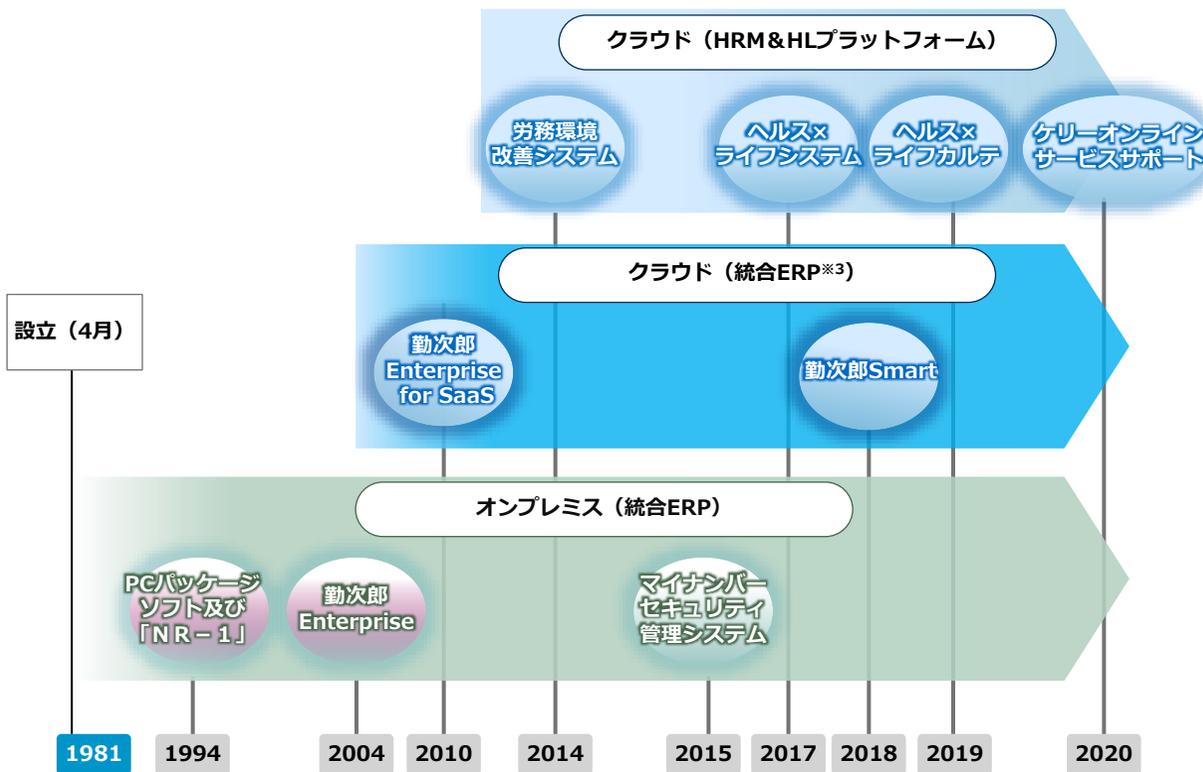
ビジネスモデル 「B to B」 「B to B to E」 「B to C」



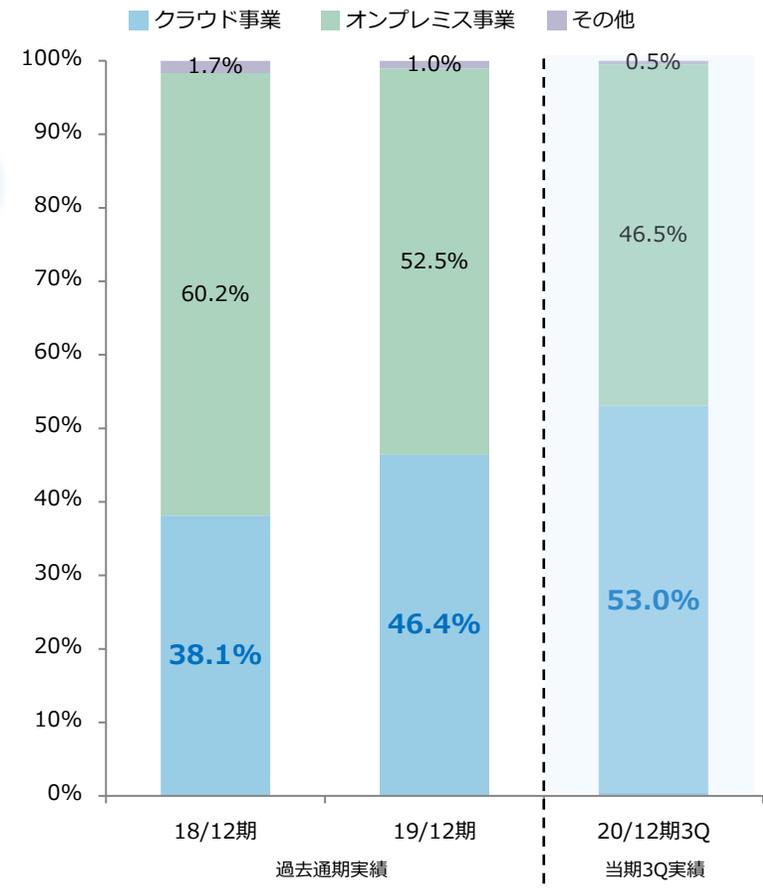
ビジネスモデルの変遷

■ オンプレミス事業※¹からクラウド事業※²へ収益構造を変化

ビジネスモデルの変遷



事業別売上高構成の推移



- 「オンプレミス」とは、利用者が情報システムの設備（ハードウェア）を保有し、利用者の設備において運用することをいいます。「オンプレミス事業」は、利用者の設備にインストールするソフトウェアを販売するほか、それに付随するサービスを提供しております。
- 「クラウド」とは、クラウドコンピューティングの略称であります。「クラウド事業」は、従来は手元のコンピューターにインストールして利用していたようなソフトウェアやデータ、あるいはそれらを提供するための技術基盤（サーバーなど）を、インターネットなどのネットワークを通じて利用者へサービスを提供しております。
- ERPはEnterprise Resource Planning（経営資源計画）の略で、企業の基幹業務を効率化するための業務系システムのことをいいます

2.事業ハイライトと成長戦略





「勤次郎Enterprise」とは

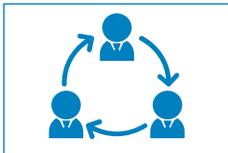
- 「働き方改革&健康経営」を実現する統合ERP

統合ERP「勤次郎Enterprise」(B to B、B to B to E、B to C)

働き方改革データ



勤務情報



人事情報



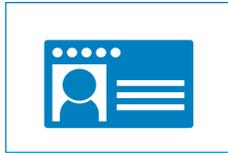
給与情報



工数管理



コスト分析情報
シミュレーション



マイナンバー情報



日報管理



立替金精算



稟議書管理



設備予約管理



労務管理情報、ストレスチェック情報
健診結果情報、健康向上情報、食事習慣情報
医療診断情報、育児成長情報

健康管理データ

心をケア



ストレスチェック

新機能 リリース予定



AIによる分析・予測

体をケア



健診結果の管理



保健師をサポート



診断結果の判定



健康向上 生活ログ



契約社数および契約ライセンス数※1の高い成長率

26年

以上の運用実績

5,000

以上の企業・団体への導入実績

クラウド実績：約1,200企業・団体
オンプレ実績：約3,800企業・団体

2020年12月期9月末実績

142万

のユーザーライセンス

クラウド：約30万ユーザーライセンス
オンプレ：約112万ユーザーライセンス

2020年12月期9月末実績

約51%

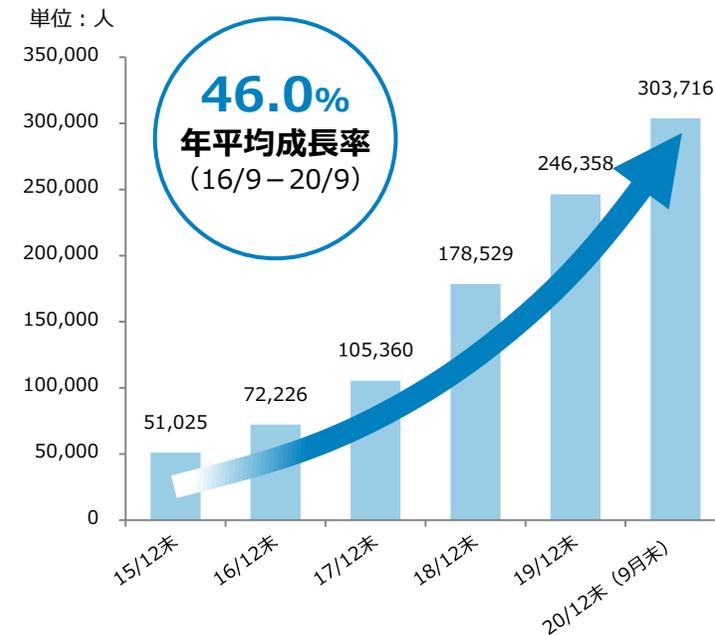
のリカーリングレベニュー

2020年12月期3Q累計実績

クラウド形態での契約社数



クラウド形態での契約ライセンス数



1. 契約ライセンス数は、顧客企業の1従業員が複数サービス（就業・人事・給与・ヘルス×ライフ）の利用がある場合でも1（人）として集計しています

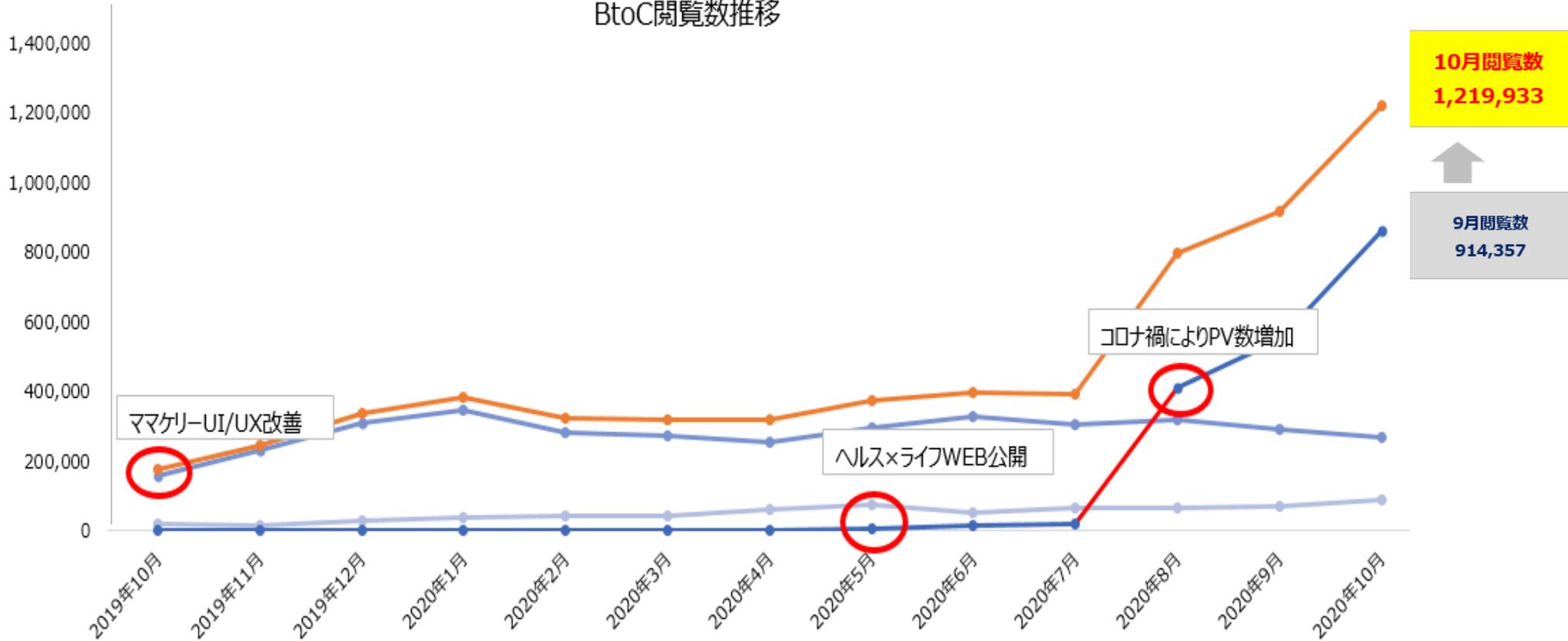


直近PV数の傾向 (B to C)

Web ページビューの傾向

■ 1千万ビューの早期達成を目指す

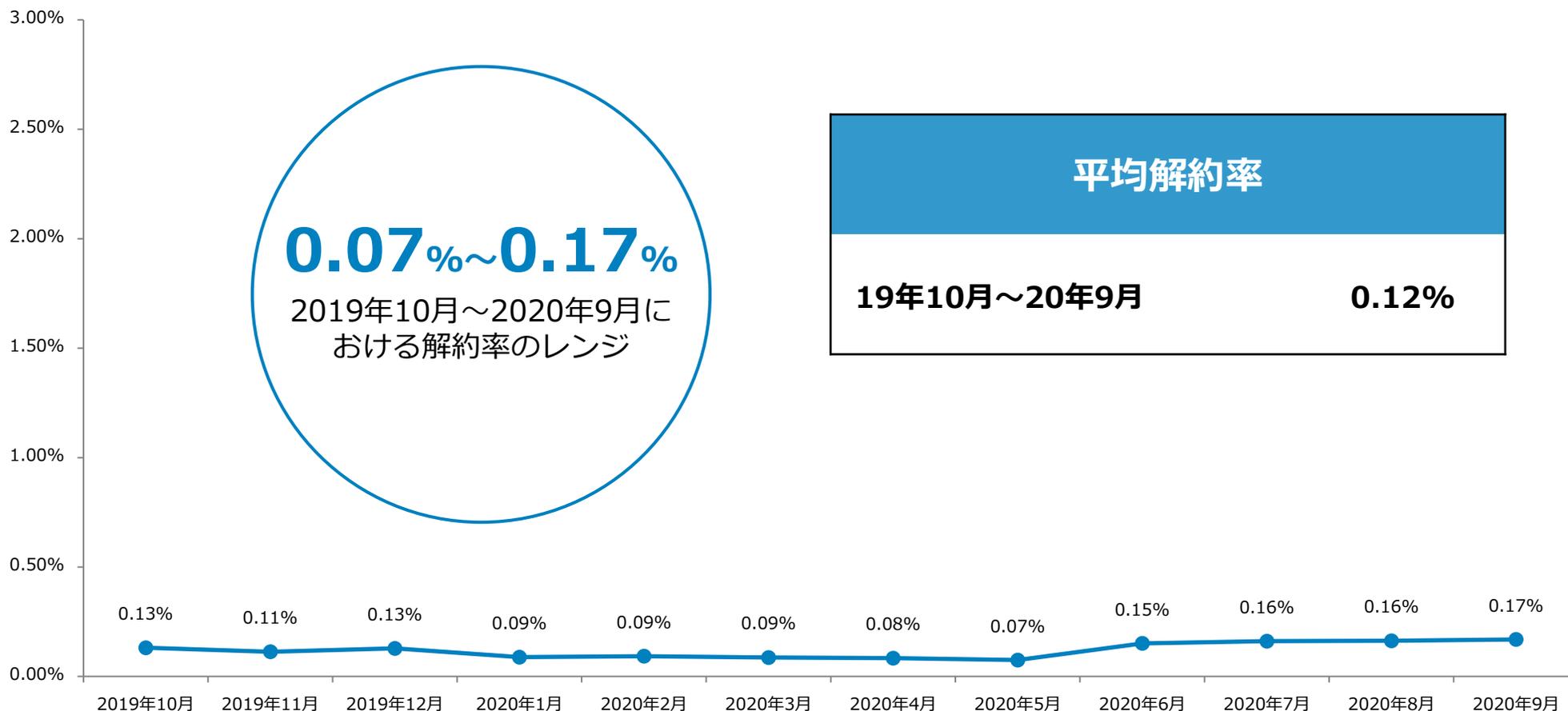
BtoC閲覧数推移



低位安定しているクラウド解約率



クラウド解約率※1



1. 月次平均解約率。当月解約ユーザーに対する収益÷前月末収益で算出

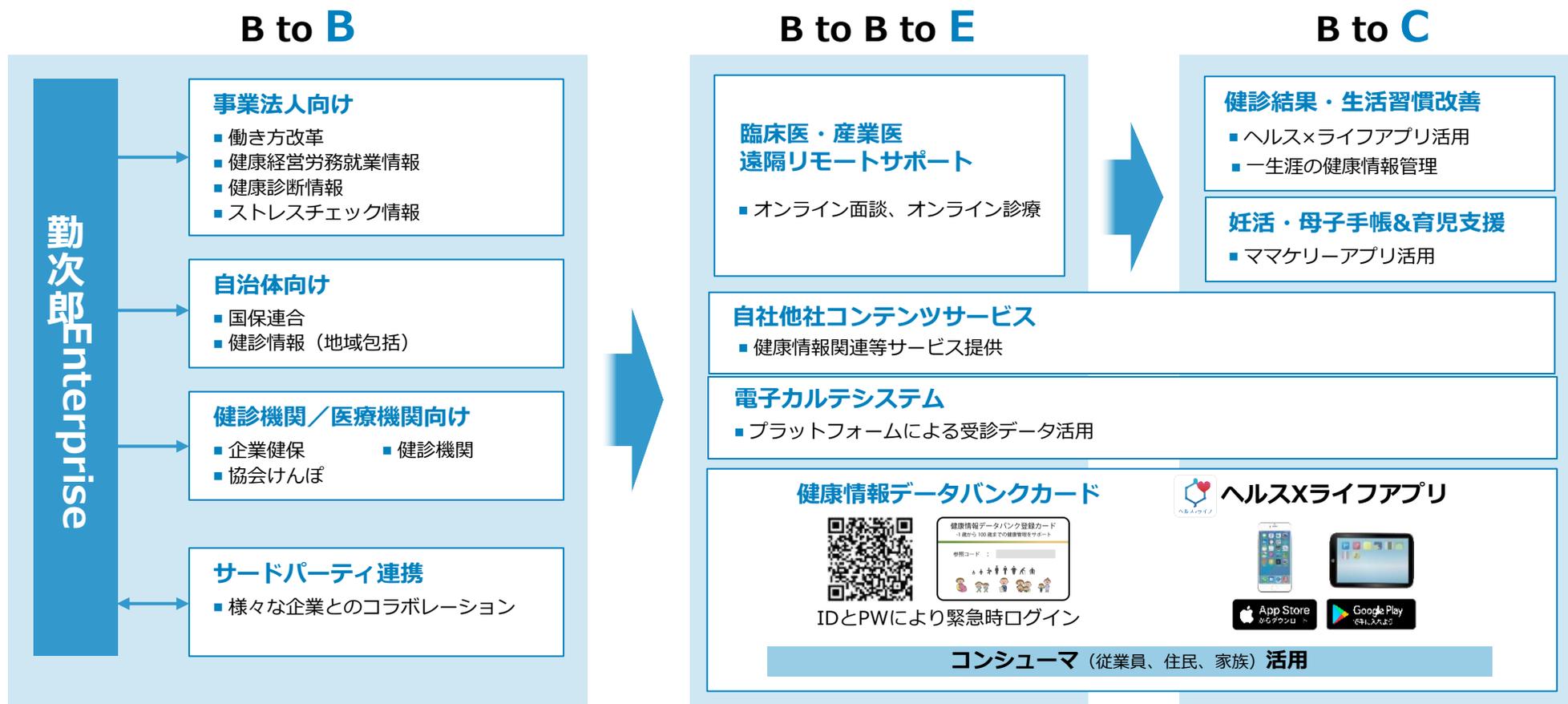
HRM事業の全体像

顧客の「働き方改革&健康経営」実現に向けたプラットフォームビジネス



- 事業法人に加え、自治体、医療機関、サードパーティーと連携し、従業員・従業員の家族など住民の健康増進を統合データベースである「HRM&HLプラットフォーム」上で提供することで、広く「働き方改革&健康経営」を実現

「HRM&HLプラットフォーム」





「B to B」「B to B to E※1」「B to C」へ顧客ターゲットを拡大

- 統合データベースである「HRM&HLプラットフォーム」を活用して、**従業員・従業員の家族**などの健康増進に繋がるサービスを提供することで、広く「働き方改革&健康経営」の実現を目指す

健康情報データバンクカード **ヘルスXライフアプリ**

健康情報データバンク登録カード
-1歳から100歳までの健康増進をサポート
登録コード: []

健康情報データバンク登録カード

ヘルスXライフアプリ

App Store からダウンロード
Google Play 入手し、インストール

IDとPWにより緊急時ログイン

コンシューマ（従業員、住民、家族）活用

大学、医療機関とのエビデンス確立

企業の活用モデル

- 働き方改革
- 健康経営

- 労務就業情報
- 健康診断情報
- ストレスチェック情報

健康ポイント活用

臨床医・産業医 遠隔リモートサポート

オンライン面談、オンライン診療

妊活・母子手帳&育児支援

ママケリーアプリ

健診/医療機関の活用モデル

- 企業健保
- 協会けんぽ

健診機関

自治体の活用モデル

国保連合

健診情報 (地域包括)

電子カルテシステム

プラットフォームによる受診データ活用



サードパーティ連携

様々な企業との
コラボレーション

自社他社コンテンツサービス

健康情報関連等
サービス提供

1. E=Employeeのイニシャル



【Healthkit】
ヘルスライフアプリ
Appleヘルスケア、Google Fitとの連携により日常の活動や測定の情報日々蓄積

ヘルスマップイン
ヘルスマップイン

測定データ
歩数・睡眠
栄養など

活動データ
歩数・睡眠
栄養など

歩数
睡眠時間
血圧
体組成
血糖

App Store
Google Play

※iPhone/Androidアプリ ヘルスケアアプリ完全連携



クラウドサービス

HRM&HL統合データサービスプラットフォーム

AIによる多彩なサービス

労務管理情報、健診結果情報、健康向上情報
食事習慣情報、医療診断情報、育児成長情報

産業医支援機能（産業医判定機能）
健診結果の判定や事後措置をサポート

臨床医オンライン診療サービス
診察・薬剤処方・診断書提供

産業医オンライン面談サービス
各種面談
ストレスチェック・健診・過重労働

保健師オンラインサービス
安全衛生委員会
ストレスチェック業務
健康診断関連業務
果樹労働関連業務

健康情報データバンク登録カード活用
個人の健康情報管理

健康経営取組み支援サービス
働き方改革 & 健康経営法人認定取得サポート
施策立案 & 実施改善評価 & 改善アドバイス

健康ポイント運用サービス
従業員健康支援の企画・運営サポート
・健康ポイント管理
・健康ポイント運用

企業損失コスト分析サービス
アブゼンティーズムの見える化
プレゼンティーズムの見える化

企業

人事労務担当者 (衛生管理者) 従業員

企業・自治体・健診機関その他
企業の働き方改革 & 健康経営へ取組み
従業員の健康増進への取組み

- ・健康診断受診 & 経年管理
- ・生活習慣改善 & 予防アドバイス



管理内容：ワクチンや検査の種類により、有効期限や必要回数、接種間隔等を設定して管理



- ・ワクチンマスタ画面を追加
- ・管理項目はまだ未確定
- ・ワクチンだけでなく、PCR検査・抗体検査・抗原検査も管理できる

管理項目（暫定）

- ・ 区分（ワクチンor検査）
- ・ 名称（ワクチン名or検査名）
- ・ 接種日
- ・ 接種施設（病院、クリニック）
- ・ ロット番号
- ・ 間隔
- ・ 生ワクチン or 不活化ワクチン
- ・ CD（免疫活動性）
- ・ 有効期限
- ・ 必要回数
- ・ 証明書アップロード など

企業運用：管理したいワクチンを選択し、それからワクチンのデータを表示・登録・管理できる。また、接種の指示をメール・アプリへのプッシュ通知の形で出せ、接種済/未接種の進捗管理が行えます（※健康情報データバンク登録カードも活用出来ます）



企業側のデータ管理者

ワクチンのデータ、接種の進捗を管理

- ・企業は必要なワクチンや検査を受診指示できる
- ・実施計画作成は今まで通りで、実施内容(ワクチン・検査)を選択できる
- ・今までの結果確認とは別に、ワクチン/抗体検査のみを確認できる画面を追加
- ・管理者は受診結果だけでなく、進捗も管理できる
- ・過去の接種履歴も含め、従業員の情報を確認できる（指示したもののみ。個人で接種・受診したものはNG）

接種指示を発信



接種が必要な社員

メモ：PCR 検査について今は新型コロナウイルスの検査方法として知られているが、元々遺伝子解析手法の一つなので、癌の検査にも使用される。

メモ：企業が指示をしたワクチン接種履歴は企業側が参照できるが、個人で受けたものは参照できない



接種証明書をアップロードすることが出来ます。

病院やクリニックで発行された接種証明書のアップロードができる

アップロードした証明書は、スマホのプリント機能を利用し、Bluetooth等で接続されたプリンターに出力できます。



接種証明書をアップロードし、アプリからプリントも可能



厚生労働省検疫所のウェブページへのリンクを配し、渡航国・地域ごとに接種する必要があるワクチンの情報が参照出来ます（機能強化予定）

厚生労働省検疫所のウェブページを表示



IDとPWが記載されており
緊急時に第三者がログインできる
QRコードからログイン画面へ遷移

メモ：渡航先の国、地域により、入国する時に接種証明書を「提示する必要がある/ない」場合があります。また紙媒体が必要なのか画像でも良いかの基準も異なります。

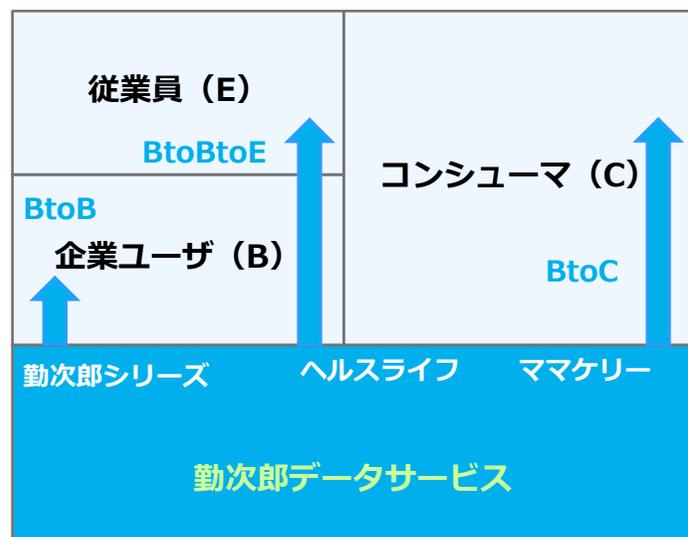
成長戦略③

ビジネスモデルの進化：プラットフォームビジネス



勤次郎Enterpriseを強みとしたBtoBでの顧客基盤をベースに、ヘルスライフサービスを中心とした従業員向けサービス（BtoBtoE）の拡充、コンシューマ向けサービス（BtoC）を拡大してきております。

電子カルテ及び遠隔診療サービスのポートフォリオへの追加によって、産業医、保健師といった企業と従業員向けの健康経営を支える方々にも活用いただくことができる健康経営プラットフォームとしての機能を強化してまいります。



成長戦略④

他社にとっても魅力的な日通システムのクラウド基盤



数千社に及ぶBtoB/BtoBtoEユーザ、140万人を超えるBtoCユーザに自社クラウドでサービス提供している強みを活かしようとしたユーザにリーチしたい他社にもアプリ提供できる基盤を提供することで更なる成長を実現します

クラウドフロントの強化

- お客様を中心としたサービスサイトを徹底し、自社以外のアプリにもシングルサインオン（SSO）を可能とする

クラウド基盤の進化

- 最新のクラウド技術の積極的活用により、自社サービスのみならずサードパーティアプリの実装にも柔軟に対応するクラウド基盤に進化させる
- 自社データセンターとパブリッククラウドを適材適所で活用することにより、お客様ニーズへの柔軟な対応と需要への変動対応力を高めることでコストの最適化を図る

AIを活用したデータ事業

- 自社サービスを介して得られる情報をリアルタイムに利用できる仕組みを構築し様々なAIを活用したサービスの開発を行う
- クラウドフロント戦略による他社データとの連携戦略を進めるとともに、オープンデータも活用してAIで活用できるデータの量と質を高めていく

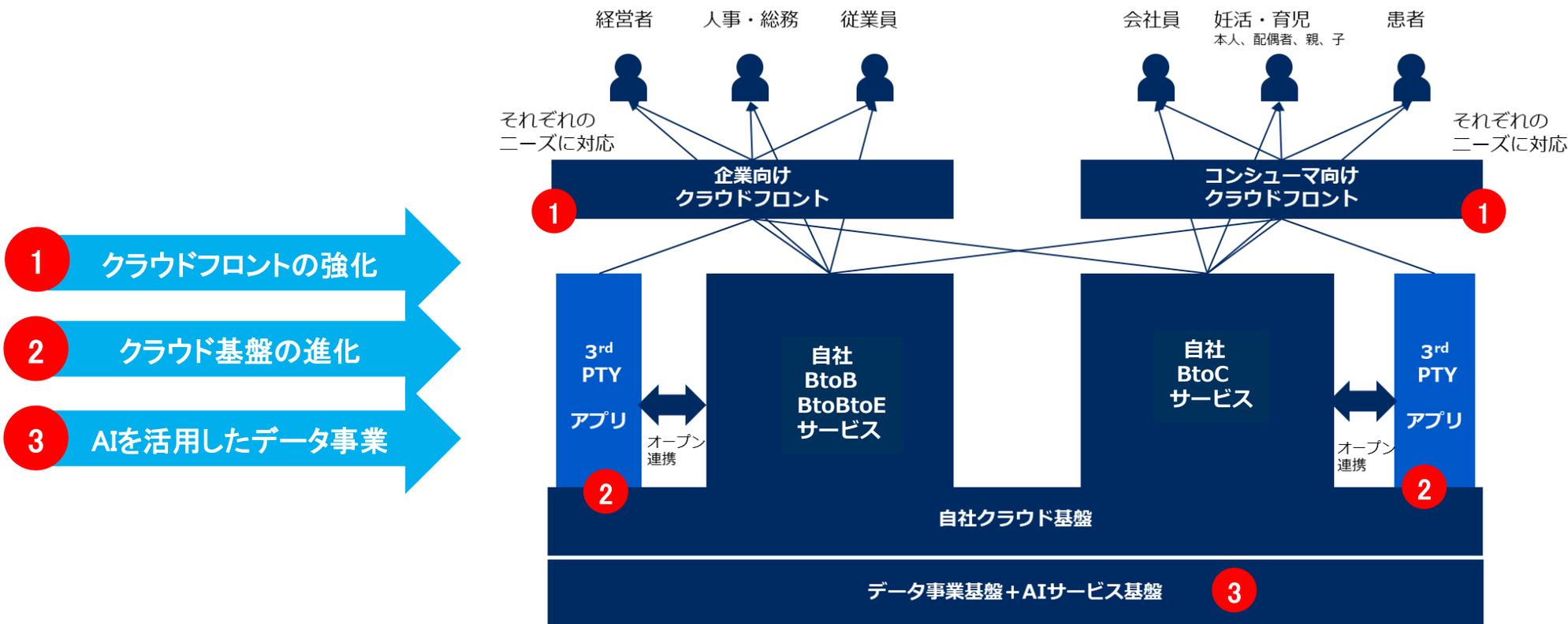
成長戦略⑤

クラウド基盤を活用したアプリ提供を他社にも提供 (21年度リリース計画)



自社サービス枠を超えて企業と個人の「健康なWORKを支援する」

- 数千社に及ぶクラウドユーザ基盤をコアに、他社にもアプリ提供可能な仕組みを提供することで、Win-Win-Winを推進します
- BtoB、BtoBtoE、BtoCの両面でデータ連携することにより顧客価値を高め、AIを活用した新しいサービスを拡大していきます



成長戦略⑥

活用可能なデータの拡大によるAI活用サービスの展開



弊社アプリに取り込まれたお客様データを元にAIによる分析サービス／予測サービスを拡大
自社サービスのデータのみならず他社アプリとのオープン連携を拡大し対象データの幅を広げることで、
企業や従業員、個人の生産性の向上、健康な働き方を支援します

Step1：AIモデルを開発済み

リアルタイム活用可能な基盤を構築中



- 経営者向け
 - 会社全体の傾向分析
- 産業医/保健師向け
 - 面談支援
- 従業員向け
 - モチベーション向上
- コンシューマ
 - 健康増進/行動変容など

Step2：長期戦略（21年度リリース計画）





免責事項およびご注意

本資料に掲載の情報は、当社の経営方針、財務情報、経営指標等の提供を目的とし、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載情報の完全性・正確性・安全性・その他についていかなる表明並びに保証を行うものではありません。

本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

本資料の掲載内容のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当し、これらの記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいており、リスクや不確定な要因を含んでいます。

実際の業績は、経済情勢、業界における競争状況、新サービスの成否などさまざまな要因により、これら業績などに関する見通しとは大きく異なることがあり得ます。

2019年12月期の第4四半期以外の過去の各四半期の会計期間の財務数値については監査法人による監査を受けておりません。
四半期会計期間については「1Q~4Q」と記載しております。